



友の会だより No.41

(2020 年 3 月 31 日発行)

自転車文化センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

TEL 03-4334-7953 / FAX 03-4334-7958

Email bccask@jifu.jp

OPEN 9:30~17:00/最終入館 16:45

CLOSE 月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

自転車文化センター特別展示

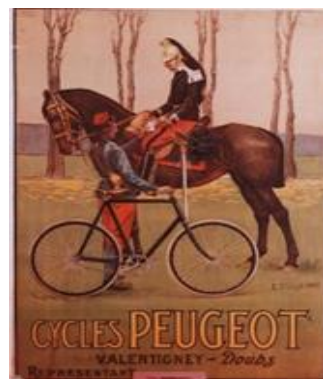
『19 世紀末の自転車ポスター展』

～極みの表現その違い～

- 開催日時：令和 2 年 3 月 25 日(水)から 4 月中旬(予定)
9:30~17:00(最終入館 16:45)
- 開催場所：自転車文化センターギャラリー&ライブラリー
- 入 場：無料
- 展示内容：企業が自転車の良さをPRとして活用されたものや、色鮮やかで斬新なデザインのポスターを時代背景に連想させてくれるポスターの展示、また、ポスターに合わせたその当時の自転車も展示しています。ご来館お待ちしております♪

【お知らせ】新型コロナウイルス感染拡大を受けて、当面の間、開館時間を 10:30/閉館時間を 15:30 に変更しております。

また、今後の感染拡大の状況によっては、臨時休館を余儀なくされる場合がありますので、ご利用の際は、当センターHP又は、電話にてお問い合わせいただきますようお願いいたします。



令和 2 年度テーマ展示予告

今年も≪5月は自転車月間≫の時期となりました！自転車文化センターでは、恒例の「自転車月間」にちなんだテーマ展示を企画しています。

◆第 1 回テーマ展示『自転車月間展』4 月中旬から 7 月中旬開催(予定)

他、様々なテーマに沿って展示を展開いたしますのでご期待下さい♪

新着図書のご案内

「MOUNTAINBIKE ACTION 35-1」
「ペダリング・ハイ」(高千穂遥 著/小学館)
「自分に挑む！/人生で大切なことは自転車が教えてくれた」(稲野学 著/CCC メディアハウス)
「MOUNTAINBIKE ACTION 35-2」
「MOUNTAINBIKE ACTION 35-3」
「自転車日和 54/ゼロから始める自転車趣味人」(辰巳出版)
「折りたたみ自転車&スモールバイクCUSTOM」(辰巳出版)
「ゼロから始める超はじめてのロードバイク選び/アンダー10万円から選べる最新ロード 2020」(辰巳出版)
「ディスクブレーキロードバイク必携メンテブック」(柘出版社)
「ロードバイカー人旅入門」(柘出版社)
「LOOP Magazine Vol.28」(三栄書房)
「自転車大好き 創刊準備号」(船橋武志 著/ブックショップマイタウン)
「弱虫ペダル 65」(渡辺航 著/秋田書店)
「MOUNTAINBIKE ACTION 35-4」
「MTB日和 vol.41/for wonderful&exci」(辰巳出版)
「ミニベロ&クロスバイク購入大図鑑/欲しい1台が見つかる!約80ブランド300台掲載」(柘出版社)
「折りたたみ自転車で旅に出たくなる本/小さな自転車を大きく楽しむ!」(八重洲出版)
「ミニベロ&クロスバイク購入大図鑑 Life/英国車の魅力に迫る」(ホビージャパン)

♪BCC休館日のお知らせ♪

★月曜日休館〔祝・祭日の場合は翌平日〕

4月6日・13日・20日・27日

5月7日(木)・11日・18日・25日

6月1日・8日・15日・22日・29日

◆ゴールデンウィークは開館しております♪

「BCC友の会」会員募集中♪

自転車に関する書籍など、約11,500冊以上を所蔵しています。会員登録をしていただいた方に限り、図書の自由閲覧をすることができます。会員各位におかれましては、ご友人様などご紹介頂けたら幸いです。

「BCC友の会 1日利用システム」♪

現在、皆様にもっと当センターを活用して頂きたい【1日ご利用システム】を設置しております。是非、ご利用してみたいはいかがでしょうか!?ご利用の詳細は、BCCHP又はBCCまでお問い合わせください。

～友の会会員証有効期限のお知らせ～

『会員証』更新につきましては、入会日から2年間、ご来館のない場合は、無効となりますのでご注意ください。また、再入会の場合は、新たに入会手続きが必要となります。有効期限などご不明の場合は、BCCカウンタースタッフまで、お問い合わせください。

自転車文化センターにご来館の際は、必ず会員証をカウンターまでご提示ください♪



高齢者の自転車事故の特徴

BCC 学芸員 谷田貝一男

昨年、全国で発生した自転車事故は80,473件（「令和元年中の交通事故の発生状況」警察庁交通局）で、10年連続の減少となっています。これに対して東京都は13,094件（「交通統計・交通事故発生状況・都内自転車事故の交通事故発生状況」警視庁）で、3年連続して増加しています。しかも、全交通事故件数に対する自転車事故件数の割合が、全国では21.1%に対して東京都は39.0%です。また、東京都の全自転車事故件数に対する65歳以上の高齢者の自転車事故件数の割合は20.0%に達しています。

筆者は、東京都内の60歳以上の高齢者に仕事を斡旋するシルバー人材センターの総括団体である東京しごと財団から提供された自転車利用時の事故データ（2017年までの5年間）を分析し、その結果を昨年6月に開催された人類働態学会で発表し、同会会報に掲載されました。その後、2018年の事故データも入手しましたので、今回はこの結果も加えた6年間の事故データ291件（女性121件、男性170件）から見てくる高齢者の自転車事故の特徴を紹介します。

女性は巻き込まれに注意 男性は自らの違反に注意

事故発生の原因となる交通法令違反が高齢者と相手の両者にあるときは両者をそれぞれ1件とします。このとき、高齢者の交通法令違反による事故割合は女性が37.5%、男性が41.3%で、自らの違反による事故割合は男性が高く、相手の違反による巻き込まれ事故は女性が男性より2.3%高くなっています。

女性は自転車と歩行者に注意 男性は自動車に注意

事故の相手別割合を表1に示します。自動車との事故割合、自転車との事故割合、女性と男性では正反対になっています。また、割合は少ないのですが、歩行者との事故割合が女性は男性の3.4倍に達しています。

表1 事故の相手別割合

	自動車	自転車	バイク	歩行者
女性	33.1%	54.5%	6.6%	5.8%
男性	56.5%	34.7%	7.1%	1.8%

事故の相手を年代別の変化で表したのが図1です。男性は年代が高くなると、自動車との事故割合が増加しています。女性も年代が高くなると、自転車との事故割合を上回ることにはないのですが、自動車との事故割合が増加しています。しかし、80歳代になると自動車との事故割合よりも歩行者との事故割合が高くなります。

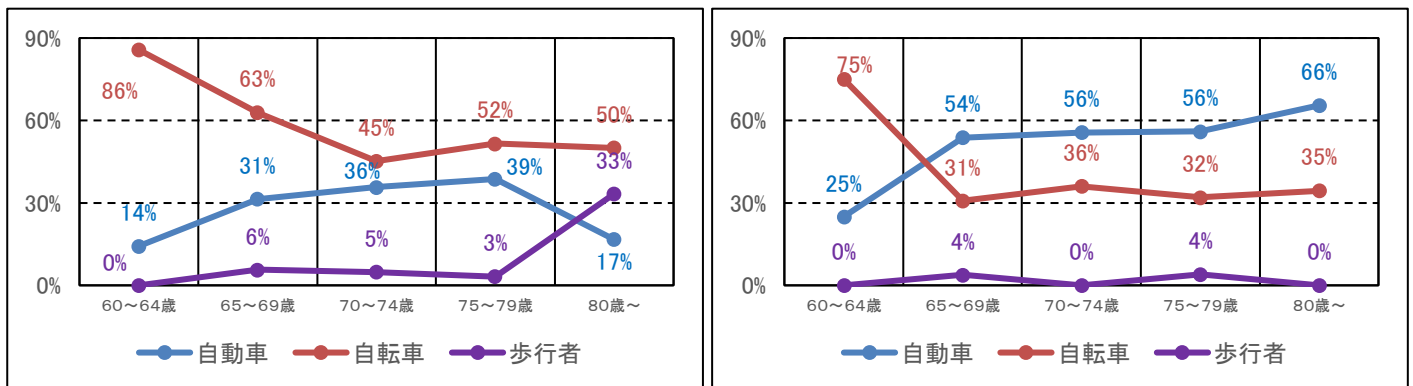


図1 事故の相手別割合 年代別の変化（左：女性 右：男性）

女性は年代が高くなると直線路・歩道で注意 男性は年代に関係なく交差点で注意

事故が発生した場所別割合を表2に示します。男女いずれも、交差点を通るときが要注意です。年代別の変化で表したのが図2です。女性は年代が高くなると交差点での事故割合が減少し、直線路・歩道での事故割合が増加しますが、80歳代になると交差点と直線路・歩道での事故割合が同じになります。男性は年代に関係なく交差点での事故割合が高くなっています。

表2 事故の発生場所別割合

	交差点	直線路・歩道	飛び出し
女性	61.2%	22.3%	16.5%
男性	61.2%	24.7%	14.1%

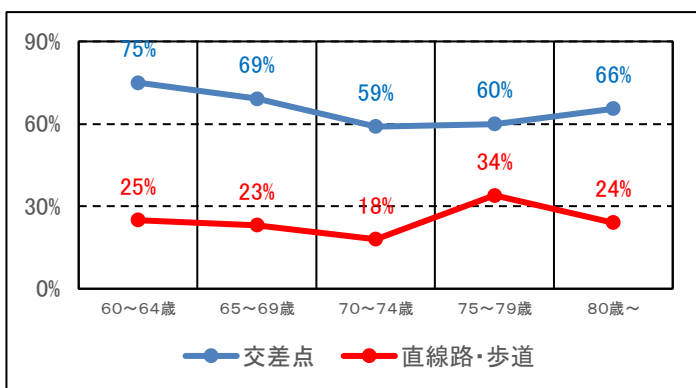
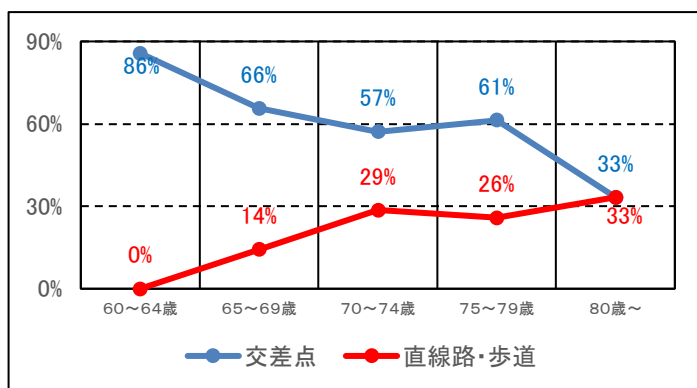


図2 事故の発生場所別割合 年代別の変化 (左：女性 右：男性)

交差点での事故 男女とも相手の違反による事故が高齢者の違反による事故の1.9倍

交差点で発生した事故の交通法令違反者別割合は、女性が高齢者29.8%、相手57.7%、男性が高齢者28.9%、相手55.6%です。男女いずれも交通法令違反者は相手が高齢者の1.9倍で、高齢者は巻き込まれ事故が多くなっています。

交差点での事故 男女とも一時不停止・周囲不確認が原因

自動車との事故のとき、高齢者の交通法令違反内容を年代別の変化で表したのが図3です。男女いずれも年代別の違いがありません。同様にして、自転車との事故のときを表したのが図4で、自動車との事故と異なります。女性は年代が高くなると一時不停止・周囲不確認による割合が減少していますが、通行位置違反・信号無視の特に通行位置違反（右側通行）による割合が増加しています。男性は一時不停止・周囲不確認による割合が60歳代前半から60歳代後半で大きく減少していますが、その後は年代が高くなるにしたがって増加しています。

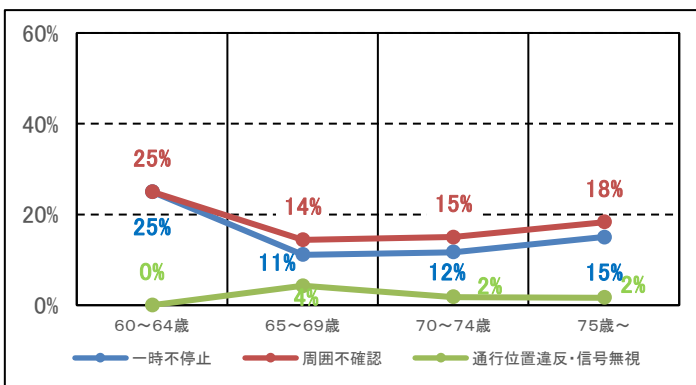
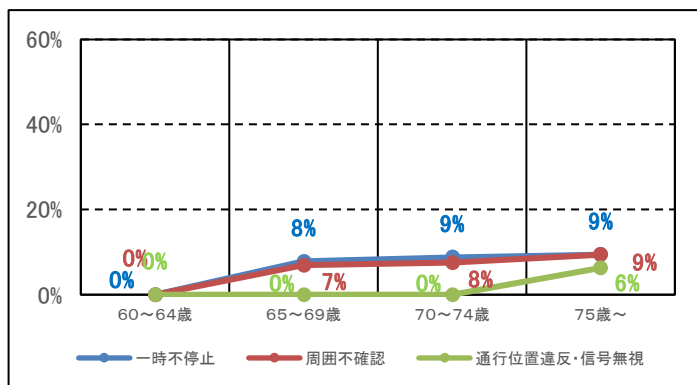


図3 交差点 自動車との事故 高齢者の違反内容 年代別の変化 (左：女性 右：男性)

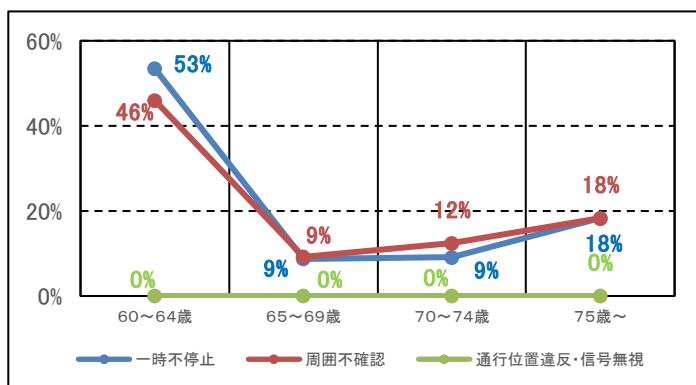
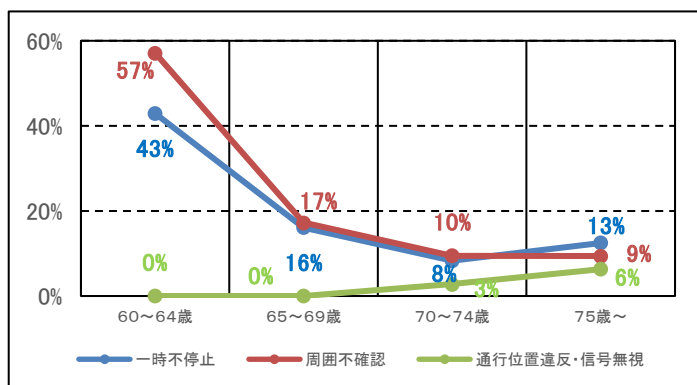


図4 交差点 自転車との事故 高齢者の違反内容 年代別の変化 (左：女性 右：男性)

交差点での事故 女性は右から来る自転車に注意 男性は前から来る右折する自動車に注意

交差点での事故の相手である自動車、自転車がどのような通行のときに、高齢者の自転車との事故が発生したかを調べた結果の一部を表3に示します。自動車との事故で最も多いのは男女いずれも、高齢者と相手が左側通行しているときの出会い頭による事故です。また、男性が特に注意の必要な状況は正面から来て右折する自動車との事故で、女性の5.2倍です。この男性が右折する自動車との事故割合は60歳代より70歳代が高

く、主たる発生原因である一時不停止と周囲不確認の割合は交通法令違反者が高齢者・相手いずれも60歳代より70歳代が高く、また男性が女性より高く、年代が高くなるとその差が大きくなります。男性自ら一時停止と周囲確認を怠ったため、対向自動車の右折時における一時不停止と周囲不確認を見逃した結果と考えられます。

自転車との事故で最も多いのは男女いずれも、高齢者と相手が左側通行しているときの出会い頭による事故です。また、女性が特に注意が必要な状況は右から来る自転車との事故で、このときの女性の事故割合は男性の事故割合の4.1倍です。女性が右側通行しているときに、右から来る自転車との事故割合は高齢者と相手が左側通行しているときの出会い頭による事故割合より高くなっています。右側横断歩道で横断開始時に右方向の確認を怠ったこと、及び相手自転車が交差点付近でも徐行しなかった結果と考えられます。

表3 交差点での事故発生時 進行方向別割合 (左：自動車との事故 右：自転車との事故)

高齢者の進行方向	左側直進			右側直進
相手の進行方向	左から直進	同方向左折	対向右折	右から直進
男	11.3%	4.2%	9.9%	2.1%
女	11.5%	1.0%	1.9%	1.0%

高齢者の進行方向	左側直進		右側直進
相手の進行方向	左から直進	右から直進	右から直進
男	8.5%	2.8%	0.7%
女	8.7%	4.8%	9.6%



女性は右から来る自転車に注意



男性は前から来る右折する自動車に注意

直線路・歩道での事故 女性は相手の違反による事故が高齢者の違反による事故の3.0倍 男性は1.8倍
直線路・歩道で発生した事故の交通法令違反者割合は、女性が高齢者6.7%、相手20.2%、男性が高齢者11.3%、相手20.4%です。特に女性は相手の交通法令違反による巻き込まれ事故が男性の1.7倍になっています。

直線路・歩道での事故 女性は右側通行に注意 男性は交錯するときの車幅不足に注意

直線路・歩道での自動車との事故のとき、男性の交通法令違反内容を年代別の変化で表したのが図5です。70歳代になると一時不停止、周囲不確認の割合が高くなる他、自動車と交錯時の車幅不足の割合も高くなります。また、相手の交通法令違反内容は周囲不確認割合9.9%、車幅不足割合4.2%で、年代を問わず他の違反内容より高くなっています。さらに事故発生時の自動車の進行方向が前方5.6%、後方5.6%で年代による変化は小さいことなどから、自動車の進行方向に関係なく互いの無理な交錯と相手の周囲不確認が男性との事故発生の原因と考えられます。

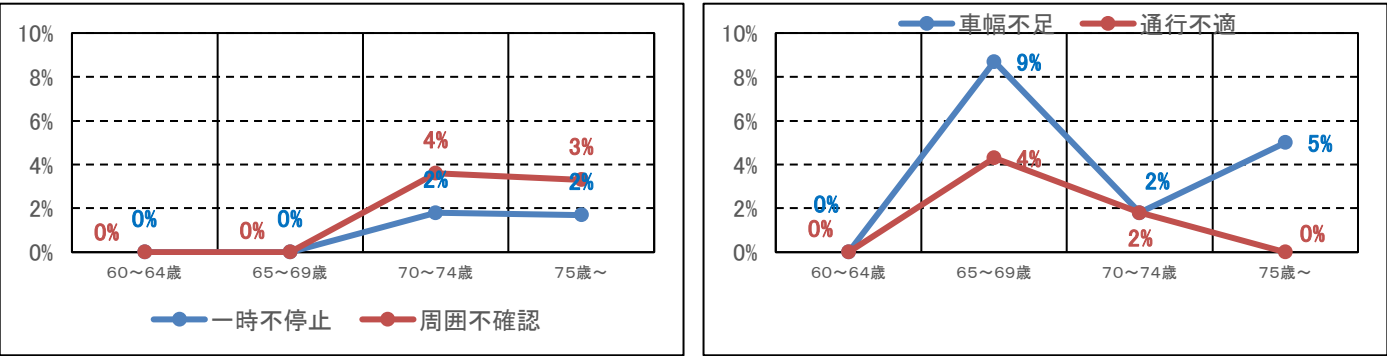


図5 直線路・歩道 自動車との事故 男性高齢者の違反内容 年代別の推移

女性の自動車との事故件数は1件のみです。これに対して自転車との事故は年代が高くなると増加し、75歳以上では直線路・歩道での事故割合が交差点での事故割合より高くなります。

自転車との事故のとき、高齢者の交通法令違反内容を年代別の変化で表したのが図6です。女性は75歳以

降で一時不停止、周囲不確認、通行不適（右側通行）の割合が高くなりますが、相手の一時不停止、周囲不確認の割合も高くなり、相手自転車の追い越し時の車幅不足（表4）は75歳以上のとき男性の1.9倍です。また、相手自転車の進行方向が前方6.7%、後方11.5%（男性は前方7.0%、後方2.8%）で、特に後方から来る自転車との事故割合が男性の4.1倍で、年代が高くなるとその割合も増加します。これらの結果から、女性は年代が高くなると道路中央寄りを通行することで、後方から来る自転車による追突事故が高くなると考えられます。

男性は一時不停止、周囲不確認の割合が70歳代前半までは女性よりも高く、車幅不足の割合は全年代で女性よりも高くなっています。また、相手自転車の進行方向が前方のときの事故割合は女性よりも高くなっています。これらの結果から、男性は前方から来る自転車との交錯時に事故の発生が高いと考えられます。

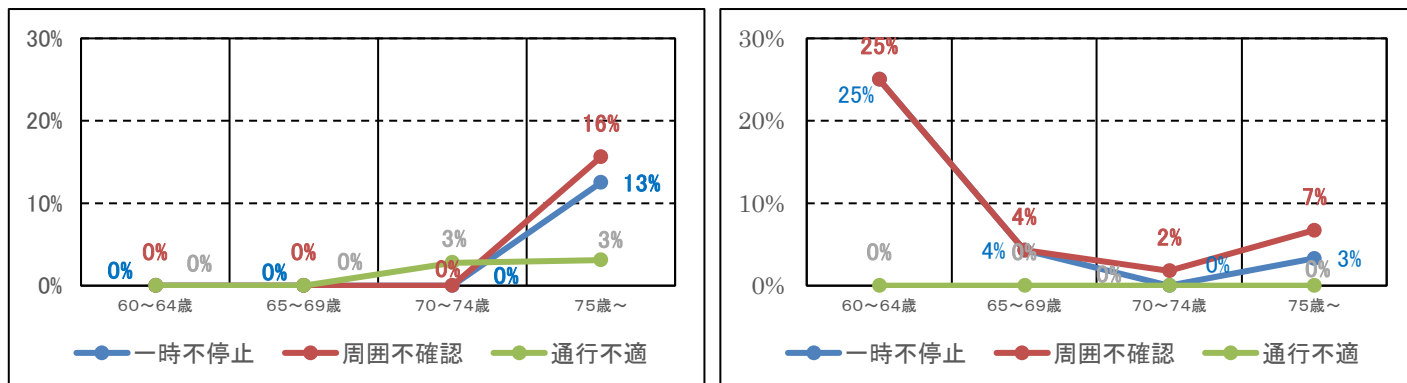


図6 直線路・歩道 自転車との事故 高齢者の違反内容 年代別の推移 （左：女性 右：男性）

表4 直線路・歩道 自転車との事故発生時 車幅不足割合

		60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳～
高齢者	男性	0.0%	0.0%	1.8%	1.7%
	女性	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
相手	男性	0.0%	0.0%	3.3%	5.0%
	女性	0.0%	3.4%	11.1%	9.4%



女性は右側通行に注意



男性は交錯するときの車幅不足に注意

高齢者の自転車事故原因は他の年代の自転車事故原因と無関係ではありません

高齢者の自転車事故の発生原因を性別・年代別に紹介しましたが、これらの事故原因は高齢者特有ではありません。自転車利用時だけでなく、歩行時も今回紹介した内容を参考にいただき、「事故を起こさない・事故に巻き込まれない」安全な通行を行っていただくことを願っています。

自転車文化センターは、競輪の補助を受けて事業を行っております。

